

[低吐]ベクティビックス(パニツムマブ)単独療法

外科 管理番号 RSC052

処方医:

適応症:大腸癌

2週間を1クールとして投与を繰り返す

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
ベクティビックス	●													

身長: _____ cm 体重: _____ kg 体表面積 _____ m²

[投与スケジュール] (_____ クール目)

Day1(月 日)

インラインフィルター(0.2または0.22ミクロンを使用すること)

本管		側管	
薬剤名	投与量	薬剤名	投与量
生食20mL ポート開通確認	10mL		
生食100mL [穿刺・プライミング用]	1瓶		
		生食100mL ベクティビックス6mg/kg [60分 点滴静注] (非炎症) インフュージョンリアクション注意	1瓶
		生食50mL [10分 点滴静注](ルート内洗浄)	1瓶
生食20mL ポートフラッシュ	10mL		

[適正使用基準]

*1. RAS遺伝子野性型である	
2. ベクティビックスの成分に対し重篤な過敏症の既往が無いこと	
*3. 重症感染症またはその疑いがない	
4. PS(Performance Status)が0~1である	
5. 間質性肺炎・肺繊維症がない	
6. 適切なインフォームド・コンセントにもとずき患者から文書により同意が得られている	
7. 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。	
Mg	1.7-2.5
K	3.5-5.0
Na	135-146
Ca	8.7-11
P	2.5-4.7

[ベクティビックス減量基準]<grade3以上の皮膚障害発現時の容量調節の目安>

皮膚障害発現時のベクティビックスの投与量	ベクティビックスの投与	投与延期後の状態	ベクティビックスの用量調節
6mg/kg	投与延期	6週間以内にgrade2以下に回復	6mg/kg 又は4.8mg/kg
4.8mg/kg	投与延期	6週間以内にgrade2以下に回復	3.6mg/kg
3.6mg/kg	投与中止		

[重大な副作用]

ベクティビックス

- ・重度の皮膚障害
- ・間質性肺疾患(間質性肺炎、肺線維症、肺臓炎、肺浸潤)
- ・インフュージョンリアクション
- ・下痢
- ・高血圧に伴う緊急症(高血圧脳症、高血圧性クレーゼ)
- ・可逆性後白室脳症症候群
- ・ネフローゼ症候群(蛋白尿)
- ・ショック、アナフィラキシー様症状
- ・好中球減少症

・うつ血性心不全(呼吸困難、乏尿、体重の変化)